

根深ねぎ「湘南」の新品種を育成

根深ねぎ「湘南」は、昭和35年に旧神奈川県園芸試験場から発表されて以来、柔らかな食感など良食味の品種として多くの方にご愛用頂いてきました。しかし、葉が折れやすいなど生産者の視点から難点も指摘されてきました。そこで、生産と販売を通じて自家採種の「湘南」を長年改良してこられた厚木市山際の野路稔さんの系統をベースに、改良版「湘南」(仮称:「KNS21」)を育成しました。

食味はそのままに葉折れが少なくなった野路さんの系統から、更に分けつの少ない株を選抜して育成しました。葉鞘の首伸びも良く、現場でも好評です。今年度中に種苗登録をして一般に販売できる見込みです。

表1 形態的特性(平成15年度)

品種	調査日	土ねぎ ¹⁾							剥きねぎ ¹⁾					
		系統	株数	収量	葉数	草丈	葉鞘長	葉鞘太	収穫株率 ²⁾	重量	葉鞘太	葉鞘長	軟白長	分けつ率 ³⁾
			/m	t /10a	枚	cm	cm	mm	%	g	mm	cm	cm	%
KNS21	12/25	32	32	5.7	3.9	106	35	17	99	85	15	39	33	9
	2/17	33	33	6.3	3.0	94	45	20	97	114	17	46	39	11
野路系	12/25	37	37	5.4	4.5	103	39	17	111	78	13	42	35	26
	2/17	35	35	6.5	3.4	96	45	20	104	105	17	46	39	26
湘南	12/25	36	36	5.0	3.7	105	39	18	107	76	14	41	35	11
	2/17	35	35	5.0	2.1	85	42	20	107	98	17	42	37	7
石倉	12/25	33	33	5.1	3.8	105	32	19	98	105	16	39	30	2
	2/17	32	32	5.0	2.3	80	41	22	97	114	19	41	34	5

※ 株間3cmで栽培。

※ ¹⁾ 土ねぎは根、枯れ葉を除き、剥きねぎは葉3枚を残して剥皮し、全長5.7cmに切断して調製、²⁾ 収穫株率% = (土ねぎ株数/定植本数) × 100、³⁾ 分けつ率% = (剥きねぎ本数 - 土ねぎ本数) / 土ねぎ本数



図1 草姿(H16年2月17日撮影)

表2 葉折れ状況(H13年10月調査)

品種・系統	葉折れ%
野路系	26
湘南	41

※ 100株程度×3反復の全展開葉を調査